

平成23年度アスベスト大気濃度調査に係る精度管理について

本年度のアスベスト大気濃度調査の測定精度管理は、昨年度の検討結果を受け、測定業者に対する講習会による技術レベルアップ及び測定機関での精度管理計画書の作成、クロスチェックの検討により行う。それぞれの要領は以下のとおりである。

但し、測定業者に対する講習会は昨年と同じ業者で過去に受講しているので省略又は一部簡略化することとする。

また、統一精度管理についても継続して議論していただく。

1 環境省指定講習会

測定業者に対し、本年度調査の事前に測定精度管理が円滑に実施されるよう、測定担当業者に対し事前に以下の講習会を行う。

1) サンプリングに関する講習会

サンプリングに関する講習会については、昨年度まで社団法人日本作業環境測定協会精度管理センターにおいて小西委員により、事前調査や測定点の決定方法、使用するフィルターやポンプ、現地でのヒアリング調査等サンプリングにおける注意事項について講義頂いたが、今年度の受託者は昨年同様、(株)日新環境調査センターなので省略した。

2) 分析に関する講習会

(1) 日 時：平成24年1月6日（金） 10時～16時30分

(2) 場 所：社団法人日本作業環境測定協会 精度管理センター

(3) 講 師：小西委員

(4) 受講者：(株)日新環境調査センター 3名

(5) 講習の概要：

光学顕微鏡法について

分析方法の概要説明

- ・モニタリングマニュアルに基づく光学顕微鏡の計数分析方法の概要説明

顕微鏡の調整

- ・顕微鏡調整
- ・テストスライドによる調整状況の確認

計数対象繊維か否かの確認

- ・過去に撮影した顕微鏡写真について、小西委員に計数対象繊維であるか否かの確認を行った。

計数分析方法のトレーニング

- ・石綿クロスチェック事業のAランクのサンプルをそれぞれ同じ視野である15視野計数分析した。その中で特に差が見られた視野について、5人用の計数トレーニング顕微鏡を使用し、小西委員と共に計数対象繊維か否かの確認を行った。15視野の合計数における3名の変動係数は12%であり、計数分析レベルに問題は無いと判断した。

2 精度管理計画書の作成

決定した測定機関にアスベストモニタリングマニュアル(第4.0版)に基づきアスベスト精度管理計画書を作成させ、実施状況を確認する。精度管理計画書の内容は、アスベストモニタリングマニュアルに準拠しており適正な記載状況である。

- (1) 株日新環境調査センター：平成23年度アスベスト大気濃度調査精度管理計画書
- (2) 株日新環境調査センター：平成23年度アスベスト大気濃度調査(分析走査電子顕微鏡法)(単価契約)精度管理計画書

3 分析走査電子顕微鏡法(A-SEM法)における精度管理について

分析走査電子顕微鏡法(A-SEM法)における精度管理については、昨年度まで平野委員に株日新環境調査センターまでお越し頂き、

使用機材の確認

電子顕微鏡による計数及び同定についての確認・指導

について、ご指導いただいた。今年度の受託者は昨年同様、株日新環境調査センターなので省略した。